

アライグマ

分類: ネコ目アライグマ科

学名: *Procyon lotor*

英名: Raccoon (Common raccoon)

和名: アライグマ

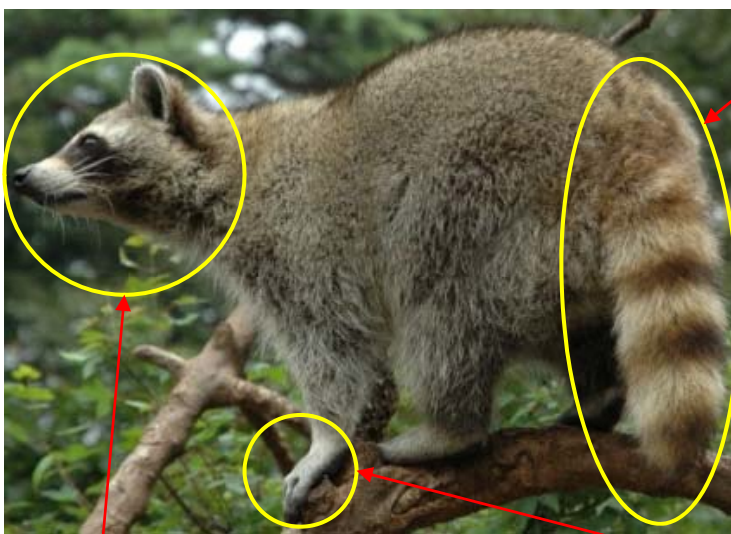
別名・流通名: アライグマ

原産地と分布: 北アメリカ

未判定外来生物: なし。

種類名証明書添付生物: アライグマ属の全種

形態的特徴: 頭胴長42～60cm、尾長20～41cm、体重6～10kg。体毛は灰白色で目の周囲にはっきりした黒いマスク模様がある。少しとがった耳をしている。尾には茶色と黒の横縞が交互につく。蹠行性(つま先から足の裏全体を付けて歩くこと)。臼歯が上下とも2対である。



尻尾の特徴

5つ程度の黒と茶色の輪模様



通常は、尻尾の輪模様は幼体や生まれて直ぐの個体でも確認できる

顔の特徴



とがった耳をしている

黒と白のマスク模様

個体差はあるが、鼻先までを挟んで、黒い箇所がつながっており、眉間の縞模様も特徴的。

指の特徴



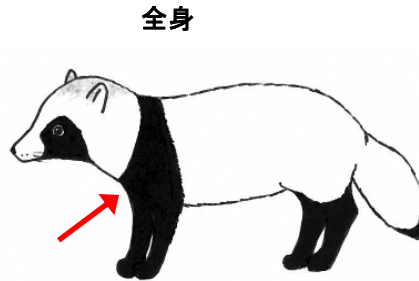
細く長い指が5本。爪は短く湾曲していない

特記事項: ネコ目アライグマ科は6属14種からなり、北アメリカ、中央アメリカ、南アメリカに分布する食肉類である。アライグマ属には、カニクイアライグマ (*Procyon cancrivorus*)、トレマリアアライグマ (*Procyon insularis*) など5種が属している。日本にはカニクイアライグマが、アライグマに混入してペットとして持ち込まれた可能性はある。野外で定着すればアライグマと同じような農作物への被害などの問題を引き起こすおそれが高いと考えられる。

形態的に類似した種との識別点

タヌキ

- ・前肢から肩にかけて黒い帯がある。
- ・四肢は黒色。
- ・指は4本で、イヌに似ている。



顔の模様

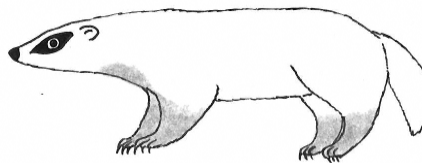


足跡
(後) (前)



アナグマ

- ・四肢は短く、褐色か黒色。
- ・耳は小さく先端が丸い。鼻が大きい。
- ・指は5本で、湾曲した長い爪がある。



ハクビシン

- ・尾が長く、体の長さとはほぼ同じ。
- ・鼻から後頭にかけて白い帯がある。
- ・指は5本。



アライグマの特徴

- ・体重は4～10kg。
- ・尾を含めた長さは60～100cm。
- ・尾の黒い縞模様(5～7本)が大きな特徴。
- ・指は5本で、細長い。
- ・爪は短く、湾曲しない。



顔の模様



足跡
(後) (前)



カニクイアライグマ

分類: ネコ目アライグマ科

学名: *Procyon cancrivorus*

英名: crab-eating raccoon

和名: カニクイアライグマ

別名・流通名: アライグマ

原産地と分布: 中央アメリカ、南アメリカ

未判定外来生物: なし。

種類名証明書添付生物: アライグマ属の全種

形態的特徴: 頭胴長45～61cm、尾長20～41cm、体重2～12kg。アライグマと良く似ている。アライグマと比べ体毛は黄色味を帯び、毛が粗く短く短い。アライグマと同様、蹠行性(つま先から足の裏全体を付けて歩くこと)で、目の周囲にははっきりした黒いマスク模様があり、少しとがった耳をしている。尾には暗色の7～8のリング状の模様がある。



アライグマに良く似るが、毛が粗く短いため、体が細くみえる



アライグマ (*Procyon lotor*)

前足、後足の毛の色は、アライグマが白色で有るのに対し、カニクイアライグマは暗褐色をしているのが特徴

形態的に類似した種との識別点

＜アライグマを参照＞

特記事項: ネコ目アライグマ科は6属14種からなり、北アメリカ、中央アメリカ、南アメリカに分布する食肉類である。アライグマ属には、アライグマ (*Procyon lotor*)、トレマリアアライグマ (*Procyon insularis*) など5種が属している。カニクイアライグマは、日本にはアライグマに混入してペットとして持ち込まれた可能性はある。カニだけを食べるわけではなく、アライグマと同様雑食性で、野外で定着すれば農作物への被害などの問題を引き起こすおそれが高いと考えられる。